

令和 8 年度事業計画

1. 喀痰吸引等研修の受講について

高齢化の進展にともない、医療的ケアを必要とする要介護度の高い特別養護老人ホームの利用者は年々増加しています。こうした状況を踏まえ、令和 8 年度から令和 12 年度までの間に、全介護職員を対象として計画的に研修を受講し、医療的ケアに対応できる体制を整えていきます。

この取り組みにより、医療的ケアを必要とする方が安心して生活できる環境が整い、介護サービス全体の質の向上が期待されます。また、安全で適切な介護の提供が可能となることで、利用者や家族からの信頼性も高まります。さらに、医療的ケアに対応できる体制を構築することで、関連する加算の取得にもつながり、結果として介護収入の増収も見込まれます。

2. 働きやすい職場づくりについて

令和 6 年度、たくま荘およびおおはま荘では、インカムおよび介護記録音声入力システムを導入しました。職員は早期に操作に習熟し、生産性の向上が図られています。しかし、両施設ともワイファイ設置工事当時の設備性能では、音声を安定して伝送するには電波環境が不十分であり、電波が届きにくく通話が困難な場所が存在しています。そこで、この課題を解消するとともに、将来的に見守りカメラの動画データ通信もストレスなく行えるよう、ワイファイ環境の強化工事を実施します。

また、委員会等の議事録を音声から作成するため、AI 議事録作成ツールの導入も進めます。これらの取り組みにより、生産性のさらなる向上を図り、介護に充てられる時間を増やすことで、利用者様へより質の高い介護サービスを提供していきます。

3. 面会及び地域交流の再開について

コロナ感染が始まった当初より、感染拡大防止のため面会を制限してまいりました。しかし、令和 8 年 5 月には感染症法上の分類が 5 類へ移行してから 3 年が経過します。今後は、感染症対策を十分に講じたうえで、各施設とも従来のように入室制限を設けず、家族の皆様の面会やボランティア活動、幼稚園・保育所の園児との地域交流を再開いたします。

さらに、夏祭りなどのイベントも地域に開放し、交流の機会を広げていきます。こうした家族や地域住民との関わりを通じて、職員が多様な視点や支援を得られるようになり、結果として介護サービスの質の向上につなげてまいります。

4. 介護職員の能力向上について

介護職員の能力向上を目的として、各部署が策定した研修計画に基づき、本年度も職場研修を実施します。特に、感染防止と事故発生防止の取り組みを重点項目として進めていきます。

さらに、外部講師を招いて専門知識の習得を図るとともに、コンプライアンス意識の向上にも努めます。

5. 部署別事業計画及び事業目標

特別養護老人ホームたくま荘

- (1) 年間入所率 95%以上、ショートステイ利用率 80%以上を目標とします。
- (2) 新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症予防に努めます。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

- (1) 年間入所率 95%以上、ショートステイ利用率 80%以上を目標とします。
- (2) 個室の特性を生かし、入居者の生活リズムやプライバシーに配慮した面会環境の整備を進め、家族が安心して面会できる体制づくりを行う。

たくま荘デイサービスセンター

- (1) 機能訓練の実施時間を十分に確保し、利用者の身体機能の維持・向上を図るためのプログラムを提供します。
- (2) 平均利用人数 1 日 25 人以上を目標とします。

大浜デイサービスセンター

- (1) 快適に過ごしていただく環境づくりに努めます。また、身体機能の維持・向上、体力づくりに励みます。
- (2) 平均利用人数 1 日 15 人以上を目標とします。

ケアハウスたくま

- (1) レクリエーションや買い物などの外出機会、季節の催し物を提供し、日々の生活に楽しみを持てるよう支援します。
- (2) 新規入居者の確保に向けて、他事業所などへ積極的に情報提供を行い、入居率の向上を図ります。

居宅介護支援事業所たくま荘

- (1) 職員のスキルアップを図り、利用者やご家族の抱える問題点を的確に把握できるようにします。
- (2) 新規利用者への対応や相談業務を、親切かつ丁寧に行います。